

業界トピックス**【製造業】**

- ・得意先を見ても上向き感がない(生産設備機器の設計・製作等)
- ・前半受注が好調だったが、このところ減少して、不安である(画像処理装置)
- ・最低賃金が上がりすぎ(プラスチック加工)
- ・受注量が少ない(自動車部品、原子力関係の部品等)
- ・主な取引先の事業縮小や受注減少などに伴い、受託業主体から、自社製品開発に注力しているが、不安要素が多く、先の見通しが不安(産業用機械装置等の設計・製造等業務)
- ・近年にない不況感(印刷全般)
- ・変化のスピードが速く、追いつくのが難しい(機械加工)
- ・半導体製造装置に関しては、モデルチェンジの年となり、新規で獲得できたことが好調の理由。ものづくり補助金で、溶接機を購入できたおかげです(半導体製造装置ユニット製造)
- ・寝具専門店の不況(ウレタンマットレスの加工・販売)
- ・来年度の消費税アップによる消費の低迷(キャンピングカー製造)
- ・受発注の案件が増加しているので、景気は良くなっている(ソフトウェア開発)
- ・20代、30代の理工系(図面製作、品質管理、生産管理)経験者の人材がほしい(産業ロボットの製造・販売等)
- ・国の政策で景気が良いと思っているのは、一部の輸出産業だけだと思う。特に弊社のような仕入れを輸入に頼ってる会社は、きついです(デジタルサイネージ機器)
- ・工事等計画の先送り、遅れが多い(生コンクリート製造販売)

【建設業】

- ・防音工事・受発注の減少(家電小売・空調電気工事)
- ・売上は上がるが、下請けの高騰に伴い、収益横ばい、もしくは低下(建設用機械の現地据付・解体工)
- ・雇用・人材不足(建設用機械の現地据付・解体工)
- ・仕事量が減少。雇用状況も悪い(電気工事業)
- ・建設業に入ってくる若者が少ない。いつも長続きしない(土木・建築一式工事、施工)
- ・小さな工務店の売上で数をこなしていたが、1社あたりの受注が少なかったり、無くなったして、工事量が減少し売上が伸びない(左官、タイル工事請負)
- ・オリンピックまで、好況感は保てない(管工事業、リフォーム)
- ・消費税を8%に挙げた影響が響いて、長引いてる。10%に上げたら、日本経済は取り返しがつかないことになる。公共投資を行って税収を上げるべき(測量業)

【小売・卸売業】

- ・販売先の減少(アイスクリーム卸売)
- ・円高で輸出高が伸びない(自動車販売業)
- ・円安による原材料の高騰に伴う原価の上昇(介護食品の開発及び販売)
- ・取引先企業の投資意欲は、非常に低い(OA機器の販売及び保守)
- ・車輻メーカーの困り込み目立つ(自動車部品販売)
- ・これが本来の姿なのか、又は、もっともっと悪くなるのか予想できない。一年前より確実に悪くなってる(建築建設土建用資材の販売)
- ・小規模店の廃業が目立つ。格差の是正が課題。生活に対する無関心さが目立つ(衣料品・作業用品)
- ・景気の動向、消費者の意向が気になる(畳材料)
- ・良質な人材の不足(医薬局、化粧品)
- ・雇用が安定せず、顧客に対応できない。個人消費が低迷している(化粧品小売)
- ・顧客は増えてるが、購入単価が低いので、売上が伸びない(家電製品、電気工事、住宅設備機器)
- ・消費者の高年齢化が進みいく中、若年層の取り組みを如何に行っていくかを考えてる(レジャー釣具用品)
- ・数年前に比べ、歳暮状況が少ない点、良い人材を雇用するコストが、上がってる(贈答品販売)
- ・一軒の畳の数が減ってきてるため(畳工事一式)
- ・輸入業の為、円安の影響が大きい(輸入自動車販売)
- ・就活生の買い上げが減少(ワイシャツ、スーツ、カジュアル)
- ・仕入単価の上昇、増税による圧迫(家電品の通販)
- ・良くも悪くも変わらず(非鉄貴金属)
- ・中国経済のニュース後、シリアルやオムツの爆買が減った(ディスカウントスーパーマーケットの経営)

【飲食・サービス業】

- ・7月から消費の低迷を感じてる(居酒屋)
- ・レストラン利用客数減少、宿泊利用者減少、料理単価下がる(レストラン営業、宿泊施設)
- ・少子高齢化により、購入層減少(不動産仲介)
- ・景況感の先行きが掴みづらい(総合広告代理店)
- ・人手不足【パート・アルバイト】(食品リサイクル事業)
- ・消費の低迷。消費増税は、やめてほしい(カットサロン)
- ・技術者不足、ホームページや折込、求人情報誌等で募集しても、人が集まらず、雇用状況の悪化(自動車販売、車検、修理)
- ・人手不足(海外引越業)
- ・物価が上がってる(ソフトウェアの受託開発)
- ・消費心理の冷え込みから派生する、個店の販売マインドの低迷。この連鎖が恒常的になりつつある(フリーペーパー)
- ・円安の影響(旅行商品)
- ・顧客の減少。来店サイクルの長期化(美容業)
- ・今年5月頃から一気に売上減少。将来が不安(自動車钣金・塗装)
- ・業界として消費税率引き上げ以降、右肩下がりが止まらず(不動産業)
- ・有能な人材の採用が難しくなっている(税務・会計・経営コンサル)
- ・景気はほとんど変わっていない。大企業の内部保留だけは、増えるでしょう(印刷・WEB制作)
- ・開業30周年で顧客の高齢化(単価が低くなってる)若いスタッフが採用できない(美容・化粧品販売・エステ)
- ・従業員不足。定着性不良(工場構内作業請負・人材サービス)
- ・前期に比べ明らかに受注が増えてきた(測量・調査・システム開発)
- ・町の商店街のさびれていく様子が気になる。もっと何か方法が無いのか?(美容業)
- ・高技術・高品質に目が向いてるきてる様子が気になる(美容・化粧品販売等)